

第39回 日本認知症学会学術集会

臨床美術作品展 Clinical art Exhibition



「今」触れる、
「今」生きる。
I feel "NOW," and I live.



臨床美術の
アートプログラム
ミニ体験会も開催！

日時：11月26日（木）
9:00～17:00

11月27日（金）
9:00～16:00

会場：名古屋国際会議場イベントホール 展示会場

臨床美術とは？

臨床美術は絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作る事によって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法(アートセラピー)のひとつです。1996年に金子健二を中心として芸術家と医師と家族ケアアドバイザーの協力のもと開発されました。《五感への刺激》《リラックスできるコミュニケーション》《誰でも楽しめるアートプログラム》等が特徴です。京都府立医科大学神経内科では認知症患者とその家族を対象とした講座を12年間試みています。本展では神経内科「脳いきいきアート」と、木村クリニック併設の「アールブリュ」で創作された作品の一部を展示し、臨床美術の概要をご紹介します。

※「臨床美術」及び「臨床美術士」は日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です。

[企画] 京都<臨床美術>をすすめるネットワーク

[協力] 京都府立医科大学医学研究科神経内科学

医療法人社団信悠会 木村クリニック

特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

[問い合わせ先]

京都<臨床美術>をすすめるネットワーク

TEL 075-331-8967